

住んでよかった 住んでみたい町



2004

(平成16年)

9

広報

せいだん

題字は直原玉青氏



子どもたちが いっぱい学び、遊んだ夏休み

夏休みに子どもたちがキャンプや海洋スポーツ、パン作りなど、いろんなことに挑戦する「ザ・あそび塾」が今年も開かれ、町内の子どもたちがたくさん参加しました。

写真は、七月二十八日に保健センター調理室で開かれた「シェフのパン工房」。子どもたちはプロのパン職人から作り方を学び、楽しそうにパン作りに励んでいました。

(関連記事は、二、三ページ)

今月の主な内容

特集「夏の思い出」
町政ニュース
せい太くんフォトピックス
淡路瓦 世界の王へ
御中学生徒会に国土交通大臣表彰など
裁判員制度を知っていますか？
西淡町合併史ー広域行政から合併へー
診療所だより

(この用紙は再生紙を使用しております。)

充実したイベント 子どもから大人まで 大はしゃぎ！

七月二十五日に開催された西淡ふるさとまつり。アトラクションにビーチフラッグ大会やダンボール船レースなどが開催され、参加者の真剣な取り組みに会場も盛り上がりました。

また、夏休みは子どもたちにとっても楽しいイベントが盛りだくさん。地域のおじさん、おばさんとチームを組んで出場したグラウンドゴルフ大会、キャンプや料理に挑戦する「ザ・あそび塾」の講座が開かれました。



海洋スポーツ



ダンボール船レース

夏の思い出 暑かったけど、楽しかったね



四万十川で川遊び



グラウンドゴルフ大会



ビーチフラッグ大会



高知県でよさこいおどり



ビッグビンゴゲーム



南の島探検隊（沼島）



子ども遊ばせ隊



デイキャンプ



クワガタ発見



西淡ふるさとまつり盆おどり大会では、老人会や女性会、子ども会など多くの方々に参加したほか、だんじり唄や和太鼓演奏なども繰りひろげられました。また、クライマックスに約二千発の花火が打ち上げられ、砂浜から眺める親子連れやカップルの姿が多く見られました。

みんなで踊ったまつり
せいだんよいとごい
ええじゃないか



盆おどり大会



夜空を彩る花火大会



西淡太鼓衆「蕨」



だんじり唄「鳴潮」

町政二コース その一



丸山地区説明会

辰美小の開校に伴う 閉校舎等の利用案を説明

辰美小学校の開校に伴い、平成十七年三月末で閉校する津井、丸山、阿那賀、伊加利小学校の校舎等利用計画案について、各地区で説明会を開催しました。

説明会では、町の計画案を次のとおり提示。①丸山、阿那賀、伊加利小の三校舎は幼稚園と公民館、防災センターを中心とした複合施設にし、グラウンドについては地区老人会のグラウン

ドゴルフ場や幼稚園の運動場として利用していただく。②比較的新しい丸山小の体育館は、辰美中学校区の社教センターとして位置づけ、利用していただく。③津井小については老朽化のため校舎を取り壊す。その跡地利用については現在未定。今後、説明会で出された住民の意見を参考に、計画を協議していきます。

町政二コース その二



東南海・南海地震への対策計画(案)

東南海・南海地震に向け 防災会議で対策計画を協議

東南海・南海地震発生に伴う津波の被害が懸念されるなか、西淡町では八月十七日に町民センターで防災会議を開催し、防護策や住民の避難確保等を定めた計画の策定を進めています。

会議には県と町の関係機関のほか、三原警察や淡路広域消防、N T T、関西電力(株)、県プロパンガス協会などが参加し、計画について意見交換が行われました。

計画では津波による浸水などの被害を想定し、迅速な情報収集と伝達体制や、住民の避難対策、また公共機関との協力体制について明記されています。

今回の意見交換を計画に反映させた後、兵庫県知事に提出。承認後、西淡町防災計画に取り入れ、計画に沿って防災対策が行われます。

町長だより

平和憲法

終戦から五十九年の歳月が流れ、今、自衛隊の問題を中心に憲法九条をはじめとした憲法改正議論が活発化しています。九条は「戦争なき世界」という人類の理想を極めて明確に、且つ積極的に憲法の規定に掲げた点で、世界の憲法の歴史上画期的な意義を有するものです。国家間の紛争をどう解決すべきか、国家主権を国家より更に一段高次の国際社会に委譲するという理想は、今後の全人類の歩むべき道標となるべきものであり、九条はその意味で日本人の誇るべき財産であります。もちろん、人類規定や統治機構、地方自治については改正されるべき点も多くありますが、安易な改正は避けて欲しいと願います。社会的事実や実効性の有無で九条の改正議論が出るとするならば、戦前の日本と何ら変わりなくなる気がします。

夏の虫

今夏は猛暑に加えて台風等による大雨が続きました。一

方、アテネオリンピックでの日本勢の活躍は、私達に多くの感動を与えてくれました。まだ、残暑厳しい中ですが、夏も過ぎようとしています。町長という立場でこの広報紙に載せさせて頂いて、十二回目の夏となりました。最初は前町長の形を引き継いで「町長雑感」、途中で「町長からの手紙」という題目で私の行政各般の考え方も書かせて頂きましたが、「町長だより」を永らく読んで頂きましたことを感謝申し上げます。町長という立場もあと四か月程でありますので、今回を最後に「町長だより」を閉じさせて頂きます。ありがとうございます。

就任当初から時代の風を感じながら仕事をしてきたつもりですし、感じたままに発言してまいりました。私の立場は夏の夜空に飛び交う蛍のように、自己を実現するために光を放ち、やがて燃え尽きるまでに完全燃焼すべき運命にあると書かせて頂いたことがあります。合併まであと四か月余り、いよいよその時期が来たわけですから。

西淡町長 長江 和幸